

事業所名：グループホーム ゆうき

作成日：平成 31 年 2 月 12 日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】 注)「項目番号」の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。					
優先 順位	項目 番号	次のステップに向けて取り組みたい内容	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	33	「重度化・看取りの方針」を法人全体で話し合い、検討。職員の不安を取り除くためにも、しっかりと道筋を立て、入居者・ご家族に説明していきたい。	・入居者さま・ご家族へ説明し、理解して頂き、安心して任せて頂けるホームを作っていく。	・法人(理事長、事務長、介護部長)と話し合い、方針を決める。 ・ホームで生活可能な時期、道筋を職員全員に周知する。 ・担当者会議を活用しながら、入居者、ご家族へ説明していく。	12 ヶ月
2	36	開所当初からの理念の見直しを職員全員で行い、「入居者さま中心」「居心地の良い居場所」のホームを再度認識しながら、入居者さまの立場になって日々の関わりが出来る様、職員が交代で講師をしながら、職場内研修の回数を増やしていきたい。	・「入居者さま中心・居心地の良い場所」を職員一人一人が意識し、日々の関わりを行う。 ・ユニットの壁をとり、両ユニットの情報共有をしながら、介護の質の向上を目指す。	・ホームの理念を立て、その理念に沿って各ユニットの理念を立てる。 ・毎月管理者、ユニットリーダーとの情報共有を兼ね、話し合いをする。 ・毎月各ユニットのミーティング開催。 ・「身体拘束・虐待」職場内研修の回数を増やす。	12 ヶ月
3	26	入居者さまの状態をより具体的に分析できるよう、アセスメント様式を作り直し、各ユニットの職員全員で、入居者さま一人ひとりのケアプラン作成に取り組んでいきたい。	・各ユニットで、職員全員が入居者さまの現状を把握し、課題解決に向けた話し合いができる。 ・各ユニット職員全員が、ケアプラン内容を把握し、ケアプランに沿った支援を実践していく。	・センター方式を活用したアセスメント様式の作成。 ・介護保険更新時期に、各ユニット職員全員がアセスメント作成。 ・各ユニット毎月ミーティング開催し、現状把握しながら、計画作成担当者が主になり、ケアプラン作成していく。	12 ヶ月
4	40	誕生日等をメインに、入居者さまの要望に沿えるよう、先ずはおやつ作りから始めていきたい。	・月1回、入居者さまと一緒に協力しながら、おやつ作りを楽しむ。 ・一人ひとりが役割を持つ事で、生活に意欲と楽しみが持てる。	・月間行事計画で、毎月計画に入れていく。 ・担当する職員が中心になり、何を作るか、材料など細かく計画を立て実施していく。	12 ヶ月
5	35	年2回は同グループの施設と実施しながら、実践的な訓練をグループホーム単独で行い、職員全員が避難誘導できるよう身に付けていきたい。	・いつ、どの職員が実施しても、落ち着いて行動できるよう、ホーム単独での訓練を行う。	・年間行事計画に入れる。(単独訓練として年2回) ・防火管理者を中心に、細かく計画をたてる。 ・職員全員が周知、徹底できるよう、検証も行い情報共有する。	12 ヶ月